

【施策評価調査】

施策名	1-3-2	民間生活路線バスの維持確保対策	77	高年齢をはじめとした交通弱者の移動手段として、民間生活路線バスの維持確保を行ないます。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ		
担当部課	総務企画部地域安全課	担当	危機管理	現行の民間路線バスの運行に関しては、県及び関係市町と協調を図りつつ運行補助を実施していますが、路線や便数が削減されている現状を鑑み、路線バスの必要性について広域的な視点から検討を加え、新たな運行形態を研究していきます。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)
		リーダー	岡本 英男	
環境変化	生活路線バス宇都宮～宝積寺～杉山線が平成21年9月30日をもって廃止となり4便減となった。			施策内容

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：生活路線バス1日当り便数(便/日)	平成16年度1日当たり便数 16便	計画	16便	16便	16便	16便	11便
		実績	8便	8便	15便		
指標：生活路線バス1日当り乗客数(人/日)	平成16年度平日1日当たり乗客数 272.5人	計画	260人	260人	260人	260人	130人
		実績	217.8人	232.1人	592.1人		
指標：		計画					
指標：		実績					
指標に関する特記事項	平成21年9月30日で杉山線(元気あっぷ経由含む)が廃止となるため、平成22年度の1日あたりの便数及び1日あたりの乗客数を変更予定。平成18、19年度の指標は、協調補助路線のみの数値であったが、平成20年度は、国庫補助路線の営業収支が一定基準(55%)に達しないために、関係市町も補助の対象となりその分の便数及び乗客数の数値が増えている。						

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	4,800,000	6,000,000	6,500,000	4,900,000	
	決算	5,181,800	5,949,333	4,857,213		

専務事業事前評価 22年度の組立て

施策傘下事務事業	事業費	活動指標(アウトプット)	事業の実施によって、施策達成にどう貢献しますか？(アウトカム)	今後の方向性(総合評価)	条件付継続
民間生活路線バス運行補助	H21 現計 4,900,000	補助対象運行便数 11本(国庫補助路線を含む)	高齢者をはじめとした交通弱者の移動手段として、関係市町の協調補助により運行し、地域住民の安心・安全を確保し路線バスの維持を図れる。		条件付継続
	H22 計画 1,130,000				
	H21 現計			今後の方向性(総合評価)	
	H22 計画			今後の方向性(総合評価)	
	H21 現計			今後の方向性(総合評価)	
	H22 計画			今後の方向性(総合評価)	
	H21 現計			今後の方向性(総合評価)	
	H22 計画			今後の方向性(総合評価)	

施策事前評価 22年度の組立て

自己評価	今後の方向性	後期計画に向けた施策展開のビジョン	H22年度の狙い
	廃止方向	平成22年度で整理するため、後期計画については、この施策は廃止となります。	本対象路線宇都宮東武～喜連川線については、関係機関との協議や十分な周知を行い平成22年度(22年9月30日)の補助をもって終了することとし、その区域についてはデマンド交通の運行により地域住民の移動手段を確保する。また、需要に対する運行であるため、利用者及び運行事業者にとっても効率的で合理的な運営、運行につながる。
総合評価	総合評価 継続的に施策展開がされていると評価する。デマンドバスにシフトすることで、当施策は廃止とするが、今まで路線バスを利用していた方が、新たなシステムへの移行に伴う、十分な説明と周知の徹底を図ること。		